

Profile

■ 現 在

- Tomabechi institute認定
パフォーマンス・エンハンスメント・コーチ※1
- 株式会社デクブリール 代表取締役
- 一般財団法人BWFインターナショナル
PX2国際普及推進部長※2
- 文部科学省委託事業 千葉県武道等指導推進事業
外部指導者
- 講道館柔道 四段

■ 経 歴

- 中央大学法学部法律学科 卒業
- 中央大学柔道部 主将
- 全日本学生柔道優勝大会 優勝、優秀選手
- デンマーク国際柔道大会 100kg超級 優勝



昭和55年生まれ。北海道登別市出身。小学校1年時より柔道を始める。北海道重量級王者として高校卒業後、中央大学法学部法律学科に進学。在学中は3年時に、全日本学生柔道優勝大会にて、古豪中央大学悲願であった24年ぶりの日本一、全国制覇を経験。4年時には、柔道部主将として活躍。現役引退後は、一般企業において長年人事業務を担当していたものの、自分の人生の目標を見失いかけていたところ、認知科学者 苫米地英人博士と出会い、認知科学に基づいたコーチングを学んだことにより、自分の社会における役割は、「人材育成」であると気付き、現在、企業や個人に対する人材育成の事業を立ち上げ、会社経営を行っている。また、認知科学者 苫米地英人 博士が代表を務める、一般財団法人BWFインターナショナルのPX2国際普及推進部長として、アメリカ発の青少年育成プログラム「PX2」を教育現場に普及させる活動も行っている。その他の顔として、2012年4月より実施の中学校武道必修化に伴い、教育委員会の要請から、千葉県の中学校において、外部講師という立場で体育としての柔道授業を行う先生の顔も持っている。

※1
Tomabechi institute 認定 パフォーマンス・エンハンスメント・コーチとは・・・北京オリンピックで8個の金メダルを獲得したマイケル・フェルプスを指導する等多数成功者を輩出し、全世界で40年間のコーチング実績を誇る米国自己啓発界最高権威かつコーチングの大家、故ルー・タイス先生の理論・方法に加え、認知科学者 苫米地英人 博士による最先端脳科学のコーチング理論を統合した世界基準のコーチング技術・スキルを学び、多くの方を成功・幸せへと導く「プロコーチ」を養成するプログラムです。

プログラム提供先は、「NASA、米国防総省、各国政府機関、教育機関、フォーチュン500の60%、フィナンシャル・タイムズ紙100社の40%、北京オリンピック委員会、USAナショナルスイムチーム、各種プロスポーツチーム 等」です。

※2
PX2とは・・・故ルー・タイス氏と、認知科学者 苫米地英人 博士が開発した青少年向け能力開発プログラムで、自らの可能性を切り開き、向上させる力を育みます。全世界の子供たち、若者たち、そして若手成人リーダーたちを教育し、成長を手伝い、つなげあうことをミッションとしています。

菊池

きくち のりやす

教 泰

